



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



2011-2012 年度

国際ロータリー会長 / カルヤン・パネルジー 会長 / 飯塚 詔夫 副会長 / 黒田 昌弘
2690地区ガバナー / 伊藤 文利 幹事 / 堀江 卓男 会計 / 榎野 良文

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
3月15日	島根大学特任教授 山崎 裕二 様	もうひとつの国引き神話
3月22日	小汀税理士事務所 所長 小汀 泰之 様	国譲り神話と鹿島神社
3月29日	18:30 ~ ホテルほり江	夜間例会

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
37	26	11(3)	76.47%	93.94 %

欠席者

大島治 / 園山 / 石原輝 / 持田 / 木村 / 桐原 / 杉原朋 / 黒田 (石原恵 / 山根 / 牧野)

来訪者

湯浅(出雲南)

メークアップ

3/8 原孝・黒田・釜屋・持田・榎野・飯塚大・内田・原泰(家庭集会)
3/11 飯塚詔・堀江・河原・飯塚大・清原・黒田・大島卓・大谷孝・佐々木・高砂・田中久・恒松(出雲南)

次回例会受付当番

(3月29日) 榎野良文 / 福田磨寿穂 / 河原治子
(4月5日) 原 泰久 / 原 孝士 / 飯塚大幸

近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう)

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	4/23	松江南
火	出雲	4/10	松江しんじ湖
水	大社	4/4	松江
木			松江東
金	出雲南	3/16 3/30(休)	

会長挨拶



3月11日(日)に出雲南ロータリークラブ40周年記念式典が行なわれました。講演は、大阪大学 湯浅邦弘教授の「自分を知り他人をいたわる」という演題で行なわれました。講演の中で、全ての話しを理解しようとする大変であるから、その中の一つでも良いから記憶に残る様な聞き方をして講演を聞いたら楽な気持ちで聞かれると思う!と話されました。大変不謹慎な聞き方で申し訳なかったのですが、先生のお話の中で文学部の教授が一番待遇が悪く、医学部、工学部の教授は部屋も待遇も全然違うと言うお話は興味深く聞きました。又、講演の途中、東日本大震災から1年が経つ2時46分に講演を中断し、黙祷を行いました。この東日本大震災も新聞、テレビでの繰り返しの報道を見ながら、どこか違う世界の出来事の様気がする事に対して何かさびしさを感じる今日この頃です。



この出雲地方では、地震は無い様な気持ちで過ごしている人が(自分も含めて)少なからずいるのではないのでしょうか。万が一、本当に地震が起きた時の為に家族、又地域の皆様とのコミュニケーションをとりながら準備だけはしておく事が大事だと思います。

幹事報告

1. 例会変更

○大社RC 4/4(水) 18:30~花見例会 於)島根ワイナリー
ビジター受付 11:30~12:30 事務局

○出雲RC 4/10(火) 18:30~花見例会
於)ニューウェルシティ出雲
ビジター受付 11:30~12:30 ホテル武志山荘

2. 地区協議会のご案内

日時 4/8(日) 受付 10:30~
本会議 11:00~ 15:40

会場 倉敷アイビスクエア

出席義務の方ご出席下さい

次期会長 次期幹事
次期新世代奉仕委員長 次期ロータリー財団委員長
次期クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕委員長の内から2名

3. 3/11(日)出雲南RC創立40周年記念式典

会長・幹事他10名の会員が出席致しました。

4. 出雲南RC会長土井豆様、創立40周年実行委員長山内様より、式典出席のお礼状をいただきました。

スマイル

湯浅(出雲南) (久し振りにおじゃまします。)

榎野 (出雲南クラブ湯浅様のご来訪を歓迎します。)

飯塚大(出雲南クラブ湯浅様 ようこそいらっしゃいました。

兄上様のご講演は大変勉強になり感銘を受けました。

ありがとうございます。)

スピーチ・例会行事

「もうひとつの国引き神話」 島根大学特任教授 山崎裕二 様

現在話題の「国引き神話(出雲国風土記)733年成立」の話と、「中世の国引き神話(鱈淵寺文書、大山寺縁起、千家文書)」の話を説明いただきました。どちらも同じ出雲の土地開発(国づくり)の話ですが、出雲国風土記(古代)の話は、ロマンをもって物語風に組立てられています。例えば「ヤツカミズオミツノミコトが、出雲の国は布のように細長く小さいのでどこからか国を引いて...」というくだりです。また中世の文からは、「ササノオが鱈淵寺、出雲大社を築いた...」という現実的な話が出て来ている。そのときそのときの時代背景によって国づくりも表現が変わっているのではというお話をいただきました。

